

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

TBSラジオ『MY!のきくきモーニング』取材紹介

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 **福音の園・埼玉 事務局**

☎049・230・1111 FAX230・1112

福音の園 Gospelgarden は、有限会社シヤロンの商標

「ご家族の声」

「いづれは優しさを包んでください」

先日は、大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。母の痙攣している様子を見て、気が動転し、救急車で病院に連れてまいりましたが、その考えが浅はかであった事に入院手続きの段階で気付きました。看護師の方から、最初に渡された物は、身体抑制の同意書でした。治療を優先させる為に認知症の人には必要な処置だと言われましたが、サインをする事ができませんでした。

病院において、認知症の母は人間として尊重すら認められないという事を実感いたしました。その夜は、点滴が一晩中続くと



という事でしたので母に付き添い何事もなく朝を迎える事ができましたが、夕方一〜二時間、私が家に帰っている間に母が帰りたいと騒ぎ出し、看護師さんを困らせておりました。

病院は検査に二〜三週間かかるので入院するようにとの事でしたが、この様子では無理なので通院さ

せていただきたいと申し出ましたが聞き入れていただけず、病院に何の責任もないという念書を書き退院致しました。家に連れて帰ろうとすると、母が帰りたいと言っているのは家ではなくホームでした。ホームに電話し、お願いすると快く承諾して下さい、ホームに帰るとスタッフの方々が「おかえり」と暖かく迎えて下さいました。

母が入所してから約一年、本当に種々な事がありました。母が、どんな時でもスタッフの方々は嫌な顔ひとつせず、母を見守って下さいました。そればかりか、たったひとりの親を自分で面倒を見る事ができず、良心の呵責に苛まれ、苦しんでいる私の心まで救って下さいました。私は福音の園様というホームに出会えた事を感じております。心の底から、ありがたうという言葉は何度言っても、言い足りない程、いづれは優しさで私達親子をつつんでいただきました。

今後、もし、母に何かありました時、病院ではなくホームの皆様のおかげで最期を迎えさせていたただきたいと思えます。そうする事が、母がひとりの人間として、尊厳を保つ最良の選択だという事を今回の入院を通して悟る事ができました。

種々のご迷惑をお掛けしますが、今後とも宜しくお願い申し上げます。
(K・A)

重度化指針・運営方針説明

ホームの皆様の傍りで最期を

グループホーム福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳

「ご利用者様の重度化に伴います当園指針に関する文書をご覧になり戸惑われておられることと思います。いつか必ずその時が来ること、そしてその時が近づいたら、悔いが残らない逝き方を一緒に考える準備を

させていただきたい」と申し上げて、「重要事項説明」をご入居契約時に行なってまいりました。

ただ、「ご家族にも温度差があり、「当然なことです」と理解下さる場合と「入居早々に最期の話をされても」と困惑される場合があります。また、施設側も「おむかえ」「しぬ」は管理者から従業者に「禁句」申し渡され、「触れない・言わない」運営姿勢が一般的な方針だからです。一段目「ご家族の声」K様は、緊急入院・帰園体験から決心されたご意思を「重要事項説明書・別紙」に記され、お手紙に添えてご提出下さいました。

お便り紹介

「主を喜ぶことは、あなたがたの力です。ネヘミヤ八・十」聖名を崇めます。いつも沢山の「福音の園便り」をご恵送頂き、みんなで良くやっているね、と感心しながら学ばされています。私達に、こんな素晴らしいお手本を主がお与え下さったことに感謝しています。

私達、岐阜キングス・ガーデンは出発してまだ五ヶ月位のよちよち歩きです。どうぞこれからもご指導お願い致します。
二〇二一年二月七日 ○○○○

※※※※※※※※※※※※※※※※

大変お世話になっております。本日、「福音の園だより・第七十四号」をいただきました。「スピーチロック」からの解放、大変参考になりました。もう一度、私自身を含め事業所全体で無意識にスピーチロックを行なっていないかを振り返って見たいと思います。いつも示唆に富んだ内容のお便りを頂き有り難うございます。これからもよろしくお願い致します。

二〇二一年二月七日

上尾訪問介護事業所 なごみケア ○○○○

来訪歓迎 屋上広場視察 **ぼぶらの樹様** (川越市) **御礼** タオル他 ○○○○様 (川越市)